



# そめそめキット

# 蛍光

## 取扱説明書



このたびはお買い求めいただき、誠にありがとうございます。  
 本商品は『蛍光顔料染め』を行うために必要な蛍光顔料と前処理・後処理用を使用する助剤とのセットです。実際の染色作業にあたりまして、本紙に記載のない疑問点・ご不明な点がございましたら、お気軽に弊社までご相談ください。

### ◆ そめそめキット蛍光の特徴

- ・染料では表現が難しい蛍光色を扱うことができます。
- ・顔料染め特有の色ムラが生じたり、仕上がりの生地は『やや硬い風合い』となります。
- ・染料と比べると摩擦で色が落ちやすいです。
- ・生地によって発色の濃さが変化します。

【例】綿ニット(Tシャツのような生地)では濃く、厚地の綿織物では薄い発色になります。……………▶

例えば『ピンク』で染めた場合…



綿ニット 厚地の綿織物

※色見本と実際の色は多少異なります。

### ◆ 染めるものについて

使用目安：約300gまで染められます。半袖Tシャツなら1~2枚程度です。

染色できる素材：『綿』の白い生地への染色をおすすめします。(生地の織り方でも染まり具合は異なります)

他の繊維でも色はつきますが、生地によっては極端に薄い仕上がりになることがあります。

### ◆ セット内容

※例として水性蛍光顔料の色は『ピンク』を掲載しています。手袋や各容器類は事前の予告無く仕様変更する場合があります。



濃染化剤(前処理用)



水性蛍光顔料



固着剤(後処理用)



手袋

### ◆ ご準備いただく道具

- ① お湯を沸かす器具
- ② 耐熱性のバケツやなべ
- ③ かき混ぜるための器具
- ④ アイロン・あて布

※あると便利なもの… 温度計(使うお湯の温度を測るために使用します)

【染色液に触れる可能性のある容器・道具や、アイロン使用時のあて布は汚れても良いものをご準備ください】

### ◆ 顔料染色の豆知識(前処理と後処理)

- ・濃染化剤(前処理用)  
役割：繊維に『+(プラス)』の電気を帯びさせて顔料を繊維に近づきやすくさせます。この処理を『カチオン化』と呼びます。
- ・固着剤(後処理用)  
役割：顔料自体には繊維と結びつく性質がないため、『バインダー』とよばれる接着剤を使います。  
※弊社販売のバインダーは乳幼児の衣類にも使えるノンホルマリンバインダーを使用しています。

### ⚠ 本商品使用上の注意事項

弊社販売の顔料は、繊維等物質への染色用途専用ですので、人体や食品には決して使用しないでください。ご使用の際も体内に入らないよう注意し、使用後は十分に手を洗ってください。また、お子様の手の届かないところに保管するよう心がけてください。

## ◆ 染色を始める前に(染色のコツ)

・キレイに染める基本は『染めるもの全体をよーくかき混ぜること』  
ずっと同じ部分がしわになったままだと、そこにムラが発生します。  
全体をひろげるようにまんべんなく液の中で動かしながら、絶えず混ぜ続けてください。

### ・それぞれの工程を『確実に行う』

前処理できてしまった処理のムラは、その後の染めで“染めムラ”  
となってあらわれます。また、後処理やアイロン加熱が不十分だと、  
色落ち・色移りの原因となります。

## ◆ 作業時の注意

・ 顔料染めは器具や作業場が汚れますので、染色の際はご注意ください。  
特に固着剤(後処理用)は接着剤ですので乾燥する前に水でよく洗い流してください。

・ 各工程で染めるものを絞る作業がありますが、手で絞ることをおすすめします。(汚れ防止のため洗濯機のご使用はお勧めいたしません)

## 染め方の手順 (綿100%の半袖Tシャツ1枚 を染める例です) ※写真はピンクの染色例です。

### 各工程の水量について

全体が十分に浸かってよくかき混ぜられる程度(半袖Tシャツ1~2枚の場合4~6ℓ程度)が必要です。



### 1 濃染化剤で前処理 (60℃×10分) 顔料を繊維に近づきやすくさせます(カチオン化)

- 60℃のお湯を入れたバケツに『濃染化剤(前処理用)』をよく溶かします。
- ①にTシャツを入れて、約10分間よくかき混ぜます。(処理のムラを防ぐため、液をまんべんなく繊維に浸透させます。※染色のコツ参照)
- 10分後、液を捨ててTシャツを手で絞り、新しい水ですすぎ洗いをしてから絞って水気を切っておきます。



### 2 顔料で染める (40℃×20分) 顔料を繊維に吸着させます(吸尽染色)

- 40℃のぬるま湯を入れたバケツに『水性蛍光顔料』をよく振ってから入れ、よく溶かします。
- ①に『1 前処理』済のTシャツを入れて、約20分間よくかき混ぜます。  
(染めムラを防ぐため、液をまんべんなく繊維に浸透させます。※染色のコツ参照)
- 20分後、液を捨ててTシャツを手で絞り、新しい水ですすぎ洗いをしてから絞って水気を切っておきます。



### 3 固着剤で後処理 (40℃×10分) 顔料を繊維に固着させます(バインダー処理)

- 40℃のぬるま湯を入れたバケツに『固着剤(後処理用)』をよく溶かします。
- ①に『2 顔料染色』済のTシャツを入れて、約10分間よくかき混ぜます。  
(処理のムラを防ぐため、液をまんべんなく繊維に浸透させます。※染色のコツ参照)
- 10分後、液を捨ててTシャツを手で絞り、そのまま広げて自然乾燥させます。  
(ハンガーなどにかけて乾かす際は、汚れても良い場所に吊るしてください)

乾燥



### 4 アイロン処理 より強く固着させます(熱処理)

乾燥させた『3 後処理』済のTシャツにあて布をし、高温に設定したアイロンで全体に十分に熱を加えます。  
※アイロン処理ができない場合は数日間自然乾燥させてください。  
ただしアイロンで熱処理した方がより固着力が増します。



### 5 完成!

※色落ち・色移りの可能性があるため、染色に使用したバケツを使用して着用前に洗剤で洗ってからご着用ください。またその際、洗濯機は使用しないでください。  
通常の洗濯の際も他の衣類とは分けて洗濯してください。

● お問い合わせ先 シンコー株式会社 染料事業部 〒720-0055 広島県福山市えびす町2-6  
Tel : 084-923-0655 Fax : 084-923-7601 E-mail : info@some.com.jp

商品に関する詳しい情報は、弊社ホームページをご覧ください。公式サイト ▶ <http://www.some.com.jp/>

 シンコー 染料

検索 